

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名)	ダイヤスーパーEZ	
供給者の会社名称, 住所及び電話番号		
会社名	ダイヤアクアソリューションズ株式会社	
住所	東京都千代田区神田駿河台3-6-1 菱和ビルディング	
担当部門	営業部	
電話番号	03-6633-3681	
FAX番号	03-6633-3683	
メールアドレス	info_das@dia-aqua.co.jp	
緊急連絡電話番号	03-6633-3681	
整理番号	DAS-SDS-0681-01	
販売者	販売者: 三笠産業株式会社 〒340-0043 埼玉県草加市草加5-6-10 tel (048)941-8215 fax (048)943-4897	
推奨用途及び使用上の制限		
推奨用途	デスライム・過酸化水素分解剤	
使用上の制限	同上	

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類		
物理化学的危険性	GHS分類基準に該当しない。	
健康に対する有害性	呼吸器感作性	区分1
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	区分1A
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分2 (肝臓)
環境に対する有害性	GHS分類基準に該当しない。	

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H334	吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。
H350	発がんのおそれ。
H360	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
H373	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（肝臓）の障害のおそれ。

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	全ての安全上の注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P260	ミスト/蒸気を吸入しないこと。
P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P284	呼吸用保護具を着用すること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P342 + P311	呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。

保管

P405 施錠して保管すること。
P410+P403+P235 日光から遮断し、換気の良い涼しい場所で保管すること。

廃棄

P501 内容物／容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。

GHS 分類に関係しない又はGHS で扱われない他の危険有害性

知見なし

その他の情報

なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候 呼吸の困難。

非常事態の概要 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分	CAS番号	官報公示整理番号			含有量 (%)
		化審法	安衛法		
カタラーゼ水溶液	9001-05-2		11-(2)-221	96	
エタノール	64-17-5	(2)-202	公表	2	
クエン酸三ナトリウム	6132-04-3		公表	2	

4. 応急措置

吸入した場合 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要に応じて酸素吸入または人工呼吸を行うこと。被災者が本物質を吸引した場合はマウス・ツー・マウス人工呼吸を行ってはならない。一方弁を備えたポケットマスクまたはその他の適切な呼吸医療機器を用いて人工呼吸を施すこと。呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 石けんと水で洗い流すこと。刺激が続く場合には医師の診察／手当てを受けること。

眼に入った場合 水で洗うこと。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。症状が現れたら医師の手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 呼吸の困難。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
気分が悪い場合：医師の診察／手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 周辺火災の状況に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 特になし。

火災時の特有の危険有害性 火災の際は健康に有害なガスが生成することがある。

特有の消火方法 危険でなければ、火災区域から容器を移動させること。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用すること。

一般的な火災の危険性 異常な火災や爆発の危険性は知られていない。

特定の消火方法 通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 関係者以外の立ち入りを禁止する。流出／漏洩箇所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させること。清掃中は適切な保護具および防護服を着用すること。ミスト／蒸気を吸入しないこと。十分な換気を行うこと。流出が著しくて回収できない場合は、地方自治体に連絡すること。個人用保護具については、本SDSの項目8を参照のこと。

環境に対する注意事項	下水や水路、地面に排出しないこと。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	大量の漏出： リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物を堰き止めること。パーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納すること。製品回収後、その付近を水で洗い流すこと。 少量の漏出： 吸収材（例：布、フリース）で拭き取ること。表面を清掃して、残留汚染物を取り除くこと。 絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。物質を適切なふたとラベルがついた容器に入れること。廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照のこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）	適切な換気を行うこと。
安全取扱注意事項	使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全上の注意を読み理解するまで取り扱わないこと。ミスト／蒸気を吸入しないこと。長時間の接触を避けること。妊娠中または授乳中の女性はこの製品を取り扱ってはならない。もし可能であれば、閉鎖系で取り扱うこと。産業衛生に気を配ること。SDS第8項で推奨される個人用保護具を使用すること。
接触回避	詳細については、本SDSの項目10を参照のこと。
衛生対策	この製品を使用するときは飲食および喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件	施錠して保管すること。容器を密閉しておくこと。日光から遮断し、換気の良い涼しい場所で保管すること。混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。
安全な容器包装材料	元の容器に密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

暴露限界値

米国. ACGIH作業環境許容濃度（TLV）

成分	タイプ	数値
エタノール (CAS 64-17-5)	STEL	1000 ppm

設備対策

適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせて。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つこと。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑えること。通常は全体換気で十分である。

保護具

呼吸用保護具	適切な呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	適切な耐化学薬品性の手袋を着用すること。
眼、顔面の保護具	適切な眼の保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具	作業衣、安全帽（ヘルメット）、安全靴等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
形状	液体
色	淡褐色 透明
臭い	アルコール臭
融点／凝固点	知見なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	知見なし
可燃性	燃えにくい

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

燃焼又は爆発範囲の下限 (%)	知見なし
燃焼又は爆発範囲の上限 (%)	知見なし
引火点	なし
自然発火点	知見なし
分解温度	知見なし
pH	5.5 - 7.5
動粘性率	知見なし
溶解度	
溶解度 (水)	知見なし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	知見なし
蒸気圧	知見なし
密度及び／又は相対密度	
密度	知見なし
比重 (相対密度)	1.00 - 1.10 (20°C)
相対ガス密度	知見なし
粒子特性	知見なし
その他の情報	
爆発性状	爆発物でない
酸化能力	酸化性でない

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定である。
化学的安定性	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	知見なし
混触危険物質	知見なし
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性	経口ラットLD50 : > 2,000 mg/kg
皮膚腐食性／刺激性	データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。
皮膚感作性	データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。
生殖細胞変異原性	データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。
発がん性	発がんのおそれ。(エタノールを閾値以上含むため区分1Aとした)
ACGIH発がん性物質	
エタノール (CAS 64-17-5)	A3 動物に対して発がん性が確認された物質 (ヒトに対する発がん性との関連は未知)
生殖毒性	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。(エタノールを閾値以上含むため区分1Aとした)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（肝臓）の障害のおそれ。

誤えん有害性 データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

12. 環境影響情報

環境影響データ

成分	種	試験結果
エタノール (CAS 64-17-5)		
水生		
急性		
甲殻類	EC50	オオミジンコ 5463 mg/l, 48 時間
藻	EC50	クロレラ属（緑藻類）(Chlorella kessleri) 1000 mg/l, 96 時間
魚類	LC50	ニジマス 11200 ppm, 96 時間

生態毒性 この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないとは限らない。

残留性・分解性 混合物中のどの成分も分解性について利用可能なデータはない

生体蓄積性

生体内蓄積の可能性

オクタノール/水分配係数 log Kow

エタノール -0.31

土壤中の移動性 本製品のデータはない。

オゾン層への有害性 データなし

他の有害影響 その他の環境悪影響（例、オゾン層破壊、光化学オキシダント生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は、これらの成分からは予想されない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規定に従い、処分する。空の容器または内張には製品残渣が残っているおそれがある。この物質およびその容器は、安全な方法で廃棄しなければならない。

汚染容器及び包装 製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

地域の廃棄規制 廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託すること。回収して再生するか、許可を受けた廃棄物処理場で、密封された容器に納めて廃棄する。内容物/容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託すること。

14. 輸送上の注意

IATA

危険物には該当しない。

IMDG

危険物には該当しない。

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質 未確定

国内規制 国内輸送については15項の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物（SDS交付及びリスクアセスメント対象物）（政令番号、含有量、施行日）

エタノール 政令番号 205 2.0 %

表示対象物

エタノール

政令番号 205

2.0 %

がん原性物質（労働安全衛生規則第577条の2）

非該当

皮膚等障害化学物質（則第594条の2）

該当しない。

毒物及び劇物取締法

特定毒物

非該当

毒物

非該当

劇物

非該当

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

非該当

第二種特定化学物質

非該当

監視化学物質

非該当

優先評価化学物質

非該当

届出不要物質

非該当

2023年4月1日以降の化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

非該当

第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

非該当

第二種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

非該当

消防法

非該当

船舶安全法・危規則

非該当

航空法・施行規則

非該当

火薬類取締法

非該当

海洋汚染防止法

エチルアルコール

Z類

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

IARC発がん性評価モノグラフ

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2019年6月

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示

及び安全データシート（SDS）

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。シートの情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。